



ひろば



コスモスの苗

令和6年9月30日発行

子どもの命を守る 安心・安全な学校づくり

校長 山美奈子



今年度、9月15日に開催を予定していた保小中合同運動会を11月に延期しました。例年にない6・7月の猛暑。連日のようにメディアで報道される熱中症の事故。この期日の実施で、児童生徒と応援に来てくださる保護者や地域の皆様方の安全を確保できるのか。命を危険にさらしたり、体調を悪くしてまでこの時期に運動会を行うべきなのか。9月に実施するのであれば、熱中症対策も万全にして練習に臨む予定

ではいましたが、想像を超える今年の暑さ。すべての学校教育活動において優先すべきは「命・安全」と、小学校だけでなく中学校の職員とともに何度も協議を重ねました。昔とは生活環境も変わり、子どもたちも夏休みはエアコンの効いた部屋の中で過ごすことが多くなりました。9月の実施は、そのような子どもたちを夏休み明けすぐに猛暑の中に放り込むことになります。

私たち学校職員は、いつも「万が一」を想定して対策を行います。熱中症による重大事故のリスクを減らすための努力もそうですが、全職員で学校中を点検して、不備が見つければすぐに修繕を行います。転倒したり落下したりするような物はないか。食の安全は確保できているか。安全に登下校ができるか。子どもたちが安全で安心して学べる学校という土台の上に、すべての教育活動はのっかっています。これからも地域に開かれた安全で安心な学校づくりを目指していきます。運動会の延期について各集落の区長さんたちにもご意見を伺ったり、そのことによって豊年祭の日程の変更をさせてしまうことになったりと、お手数やご迷惑をおかけしましたが、ご理解とご協力をいただいたことに心から感謝申し上げます。

大いなるものが過ぎゆく野分かな

高浜 虚子

また台風の到来を告げるニュースが流れている。九月は毎週のように台風が発生して、荒れ狂う海の様子や強風で倒れた木などの映像に恐怖を覚える。能登半島では台風の豪雨の影響で川が氾濫したり土砂が家を押し流したりと大きな災害も起きている。

文頭の句の「野分」とは台風の古語である。我々の力の及ばないほどの大きな自然の力が嵐を起し過ぎていった様子を詠んでいる。作者の虚子がこの句を詠んだ日は、昭和九年九月二十一日の室戸台風が上陸した日である。今のよう

に情報も満足にない時代である。吹き荒れる強風が通り過ぎるのをなすすべもなくじっと待つしかなかったのだろう。台風が来ると、スーパーから商品がなくなり、停電や断水になるといったことは島育ちの私は幼い頃から経験してきたが、台風襲来に対して現代社会の方が弱くなったように感じるのは、私だけであろうか。

自然の力に人間は到底かなわない。台風に限らず災害はいつでも起きるかわからない。だからこそ、「ここで地震が起きたらどうするか。」「大雨が続いているからどのように行動しようか。」「自分の身や命を守るために、常に想像力を働かせられる人に子どもたちにはなってほしい。同時に、子どもたちに防災の知識をしっかりと教え、的確な判断や決断ができる力を身に付けさせていきたいと思う。」

一人じゃない！



9月4日(水), 県スクールカウンセラー朝沼めぐみ先生による「SOSの出し方」の授業を3年生以上を対象に実施しました。先生は、「からだのSOSは見えやすいけど、心のSOSは見えにくい。辛いときには、信頼できる大人3人に話してみよう。」と、子どもたちに伝えました。自分だけでなく他に人にも辛いことがあること、また、そんなときには抱え込まずに誰かに話してもいいということを知った子どもたちは、ほっとした表情を浮かべていました。安心感を与えてくださり、ありがとうございました。これからも児童に寄り添える学校づくりに努めます。

台風のつめあと



住用小学校のシンボルでもあった正門前のブーゲンビリアのアーチ。長きに渡り多くの子どもたちを迎えてきましたが、先日の台風13号の影響により、アーチ部分が落下し、やむなく撤去することとなりました。今後は、両端の幹の部分だけを残し、引き継いでいきたいと思えます。撤去に際し、三浦建設様、森田区長様に御協力いただきました。子どもたちが安全に登下校できる環境が整いました。御協力ありがとうございました。

給食チャレンジ



住用小学校では、給食を残さず食べる取組を続けています。今年度は委員会の児童が中心となって、栄養たっぷりの給食を時間内に完食するチャレンジをしています。時間内に給食を食べ終えることができたなら、委員会から1枚シールをもらいます。シールをためた児童は、誇らしげに賞状を受け取っていました。これからも給食チャレンジ!

森林の体験活動



9月11日(水), 木エエ芸みどりの里の恵原さん, 森さん, 県の森林担当者の方を講師にお招きし, 森林の役割について学びました。その後, 端材を有効活用した樹名板製作を行いました。板をヤスリで磨き, ペンで花の名前を書き, グルーガンを用い飾り付けをしたら完成です。活動を終えた児童は, 「地域の方々にきれいな花を見に来てもらいたい。」「これからも朝のボランティアをがんばりたい。」と感想を述べていました。指導者の皆様, ありがとうございました。県民週間やフラワーフェスティバルの際には, ぜひ住用小学校へお越しください。

主体的・協働的な学び



住用小学校では、「主体的・協働的に学ぶ子どもの育成」をテーマに研究を進めています。9月24日(火)は, 1・2年生国語の研究授業が行われました。1年生は, 教科書やタブレットを使いながら, 集中して調べていました。2年生は, 黒板の前で話し合いながら, 黒板に意見を書いたり, 線を引いたりしていました。「主体的な学び」「協働的な学び」のできる1・2年生に感心しました。多くの職員が参観している中, よくがんばりました。

【主な行事】

- 10月 4日(金) 校区活性化委員会 18:00 住用中
- 10月 9日(水) リュウキュウアユ産卵地整地
14:15~15:15 下役勝バス停付近
- 10月13日(日) 町民体育祭
- 10月16日(水) 地震・津波避難訓練
- 10月17日(木) 「奄美豪雨災害の日」防災教室
9:00~10:40 住用小体育館
- 10月31日(木) 子ども劇場 10:00 住用小体育館
- 11月 1日(金) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間(~7日)

